

トークⅢ

医療法人 いちのせファミリークリニック院長

一ノ瀬英史

亀田総合病院で内科小児科複合プログラムの1期生として研修後、額田病院で家庭医研修プログラムの指導医。2021年より現クリニック（福岡県大川市）を継承し、院長に。プライマリ・ケア認定医、小児科専門医、総合内科専門医、在宅専門医、経営学修士MBA（グロービス）



総括トーク

西日本新聞社 報道センター部長

座長 三宅 大介



在宅医療と移行期医療



日時：令和7年8月30日(土)

13:00（12:30開場）～16:20

会場：そぴあしんぐう（福岡県糟屋郡新宮町新宮東4丁目1-1）

※医療的ケアの必要なお子さまの参加も可能ですが、会場に看護師は配置しておりません。必要な医療的ケアはご家族で行っていただきますようお願いいたします。
※当日は、感染予防対策による手指消毒等のご協力をお願いします。
発熱や風邪症状がある方は来場をお控えください。

地域（まち）で暮らそう！

—医療的ケア児・者のライフステージを考える—



成人移行期の暮らし



トークⅡ

全国医療的ケアライン（アイライン）代表

村尾晴美

1995年に長男を出産。早産であったため極小未熟児で生まれた息子さんには、重い障害があり、村尾さんは子育て介護をしながら、障害のある人たちが社会で当たり前に暮らせる社会を創る活動を開始「ミコクラス合同会社」を起業し、障害のある方やその家族と社会を繋ぎ、誰もが輝いて笑顔で生きていける社会を目指して活動を続けられています



トークⅠ

認定NPO法人ニコちゃんの会

代表理事

森山淳子

1988年に重い障がいがある長女を出産。持前の明るさと行動力で友人の輪を広げながら3児の母として日々充実した楽しい時間を過ごす。本人も親もみんな「こころ豊か」であることにこだわり続けながら、長女が他界した後も様々なボランティア活動を実施。同時に社会課題の解決を目指す。2010年に社会人学生として九州大学大学院に入学。大学院修了後、法人を設立し活動されています。



地域移行と暮らしの定着



対象

医療的ケア児のご家族
支援者
医療的ケア児支援に関心のある方

参加費
無料



※会場参加のみです。
オンラインはありません

リレートーク

- 申込：上記QRコードまたは下記URLからお申し込み下さい。
<https://shinsei.pref.fukuoka.lg.jp/YG88Z31U>
- 申込期間：令和7年7月9日(水)～定員になり次第締切

令和7年度 こどもまんなかフォーラム



福岡県 福岡県医療的ケア児支援センター

福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜4丁目2-1 こども療育センター新光園内1F
お問合せ ☎ 092-692-1601（月曜日～金曜日 9:00～17:00）

主催：福岡県（福岡県医療的ケア児支援センター）
後援：西日本新聞社（申請中）